

本報告書について

●編集方針

昨年度までと同様に「環境」「経済」「社会」的側面への取り組みを分かりやすくお伝えすることを重視して作成しました。また、「環境」「経済」「社会」の3つの視点からの取り組みが、「経営」にどのように反映されているかを、より明確に報告することをめざして本年度より冊子のタイトルを「環境経営報告書」と変更しました。

●報告対象組織

理想科学工業株式会社 国内事業所並びに全国営業拠点及び国内子会社
 なお、国内子会社のなかで、株式会社理想科学研究所、株式会社理想ベック（開発委託業務）、リソーエージェンシー株式会社及び有限会社クボタオフィスマシンは除いています。海外事業所については、2008年発行の報告書より、報告対象に含める予定です。
 →詳細は事業拠点一覧（P4）をご覧ください。

●報告対象期間

2005年4月1日～2006年3月31日
 ※但し、上記期間外の取り組みも一部含まれます。

●報告対象分野

環境、経済、社会的側面を含みます。
 ※環境、社会的側面の各々のデータ集計範囲が異なる場合、その旨を記載しています。

●発行年月

2006年7月
 ※次回発行予定は、2007年6月です。

●お問い合わせ先

理想科学工業株式会社 環境対策推進部
 Tel. 029-889-2527

●主な関連公表資料

事業報告書並びに決算短信をWebサイトに掲載しています。
 URL <http://www.riso.co.jp>

誌面の都合上本誌に掲載できなかったデータやトピックスをまとめた「Data&Topics編」（PDFファイル）をWebサイトに掲載しています。「Data&Topics編」に関連情報がある事項は、マークをご覧ください。

●ガイドラインへの対応

環境省「環境報告書ガイドライン（2003年度版）」項目一覧

項目	掲載ページ	項目	掲載ページ
1.基本的項目		②総物質投入量及びその低減対策	17,25
①経営責任者の緒言	5～6	③水資源投入量及びその低減対策	17,25
②報告に当たっての基本的要件	2	④温室効果ガス等の大気への排出量及びその低減対策	17,23～24
③事業の概要	3～4	⑤化学物質排出量・移動量及びその低減対策	17,26
2.事業活動における環境配慮の方針・目標・実績等の総括		⑥総製品生産量又は販売量	17
①事業活動における環境配慮の方針	9	⑦廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策	17,25
②事業活動における環境配慮の取組に関する目標、計画及び実績等の総括	9～10	⑧総排水量及びその低減対策	17,25
③事業活動のマテリアルバランス	17～18	⑨輸送に係る環境負荷の状況及びその低減対策	17,27～28
④環境会計情報の総括	14	⑩グリーン購入の状況及びその推進方策	20,31
3.環境マネジメントに関する状況		⑪環境負荷の低減に資する商品、サービスの状況	22
①環境マネジメントシステムの状況	11	5.社会的取組の状況	
②環境に配慮したサプライチェーンマネジメント等の状況	20	労働安全衛生に係る情報	39～40
③環境に配慮した新技術等の研究開発の状況	19～22	人権及び雇用に係る情報	38
④環境情報開示、環境コミュニケーションの状況	15～16	地域の文化の尊重及び保護等に係る情報	37
⑤環境に関する規制遵守の状況	13	環境関連以外の情報開示及び社会的コミュニケーションの状況	37
⑥環境に関する社会貢献活動の状況	37	広範な消費者保護及び製品安全に係る情報	36
4.事業活動に伴う環境負荷及びその低減に向けた取組の状況		政治及び倫理に係る情報	7～8
①総エネルギー投入量及びその低減対策	17,23～24	個人情報保護に係る情報	36